



バアバア ガエー (Grandfather goes)

書画作成

お爺が行く

Nidhi Gupta

インド福祉村協会 (IWVS)

<http://iwvs.web.infoseek.co.jp>

現地 PM 加藤 伸也

2008年12月13日発行 第13号

JICA 草の根支援協力

「保健衛生と人材育成」事業 実施中

2007年9月～2010年8月

ある日ある時

緊急用発電機の修理顛末記

田舎の畑のど真ん中にある病院では、公共電気の供給は1日に何時間あるでしょうか。24時間供給される日本では考えられない状況です。病院には発電機が3台あります。1台目は通常使う物、2台目はX-Ray写真を撮る時に使い、最後の3台目が緊急時に使います。

発電機で電気を起こしながら、同時に「大型バッテリー」にも充電させます。この大型バッテリーが夕方・夜に活躍します。昼の間に、公共電気が来なく、大型バッテリーの電気も使い果たすと、夜には院内は真っ暗です (>_<)。

こんな時に外務省草の根資金で購入した、某社の日本製発電機が大活躍します。

これが壊れたので大騒ぎです。

これが緊急用発電機 ⇒

ガソリンを供給するバブルから、ガソリンが漏れだしたのです。インドは修理事情も悪く、兎に角、販売店が遠いのです。



これがインド製発電機

そこで、インターネットで某社のホームページを探し、発電機の修理を問い合わせました。内容は「Help me」です <m(_)_m>。

無理を承知で、メールでやり取りしました。すごいですね。インド駐在社員から電話が来ました。あれこれ事情を説明しました。快く対応していただき、インドでは考えられない速さで修理に来てくれました (^.^)。早く修理も済み、かつ修理代も安くしてもらい、Drも喜んでいました。

この場を借りて、某社に熱く御礼申し上げます。



続 ある日ある時

床屋風景

インド人はおしゃれです。意外と頭髪の長さにこだわりがあります。私は余り頭髪の長さは気にしません。

昼休み、休日を問わず床屋は大繁盛です。特に、若者には長髪者はいません。それと、口髭をはやしている人が多いですね。20歳以下はあまり見ないので、ある年齢までは駄目なのかもしれませんね。



床屋の多くは道路の端に、掘っ立て小屋を建てています。鏡のある店もあれば、手鏡しかない店もあります。

インドで髪を切ってもらったのは、2度目です。料金は10-30Rs(3倍で円)位でしょうか。安いですが、洗髪はなし、髭剃りなしです。この写真はDrが口髭の整髪を頼んだようで、ついでに依頼して、院内で切って貰いました。

ラッキーでした。ボランティア活動を知っているので無料でした。

珍しく女の子が床屋に居たので写真を撮りました。

大変はにかんで、写真を撮るのに苦労しました。ごめんね (#^.^#)。



続・続 ある日ある時

仕立て屋風景

電気事情は書きましたがこの仕立て屋のミシンも、ある意味では、最先端のミシンですね。

明るいうちは仕事出来るように、昔のなつかしい、足踏みミシンです (^.^♪)。

さすがは職人ですね。どの国の職人も腕は確かです。見ていても惚れ惚れします。

わたしも去年、妻に頼まれ、インドの女性が良く着る服(サルワール?)を頼みました。生地は生地屋で買います。そして、仕立て屋に生地を持って行って、仕立てて貰います。

生地、仕立ての店を作ればいいのに、と思いますがそこがインドなのです。

町全体が「デパート」で、名古屋で言えば大須でしょうか。

生地も安いし、仕立ても安いです。仕立て代金は確か、130Rsだったと思います。

